

あいだ／生成

第九号

二〇一九年

あいだ哲学会

Between / Becoming, Vol. 9, 2019
Society of In-between Philosophy

あいだ哲学会規約

- 1 本会は、あいだ哲学会と称し、事務局を京都大学大学院・人間環境学研究科武田宙也研究室に置く。
- 2 本会は、〈あいだ〉への問題意識にもとづく哲学的研究とその発展を目的とする。
- 3 本会の会員は、京都大学大学院人間・環境学研究科武田宙也研究室の関係者ならびに委員会の推薦を受けた者とする。
- 4 本会は、次の事業を行う。
 - (ア) 学会誌『あいだ／生成』の刊行。
 - (イ) 研究会、講演会等の開催。
 - (ウ) その他必要な事業。
- 5 本会の運営を遂行するために委員会を設置する。
- 6 委員会は、若干名の幹事を委嘱することができる。
- 7 規約の改正等の重要事項については、委員会の審議を経て決定する。

『あいだ／生成』投稿規定

- 1 投稿資格は原則として会員に限る。
- 2 投稿論文の内容は未発表のものに限る。二重投稿は認めない。
- 3 原稿の採否は委員会の委嘱を受けた編集委員が審議の上決定する。
- 4 掲載された論文の著作権は著者に帰属する。掲載された論文等は原則として電子化し、インターネット等を通じて公開する。

〔編集後記〕

『あいだ／生成』第9号を、お届けする。本号は、それぞれ音楽療法、リチャード・ローティ、フランク・ステラを取り上げた3編の論考からなっている。著者はいずれも、比較的最近博士号を取得した気鋭の若手であり、博士論文の成果を踏まえ、そこからさらに新たな展開に挑んでいる。なお本号では、掲載予定であった書評1編が事情により見送りとなったが、こちらについては次号に掲載できればと考えている。書評の件は残念であるが、質・量ともに充実した3編の論考を掲載できたことは、それを補ってあまりある喜びである。(武田宙也)

〔編集委員〕

蘆田 裕史
 尼ヶ崎 彬
 石田 美紀
 石谷 治寛
 岡田 温司
 岡本 源太
 喜多恵美子
 武田 宙也
 橋本 梓
 山内 朋樹

〔編集幹事〕

原 暁

『あいだ／生成』 第9号

発行日：平成31年（2019年）3月28日

編集・発行：あいだ哲学会

京都大学大学院人間・環境学研究科武田宙也研究室

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 tel: 075-753-6540

【論文】

ソーシャル・ワークとしての音楽 ——NPO「ミュージック&メモリー」をめぐる議論を手がかりに——	嶋田久美	1
リチャード・ローティ——人間的、あまりに人間的な——	渡辺洋平	20
フランク・ステラ研究序説 ——その作品に対するモンドリアンとポロックの影響をめぐる——	笥菜奈子	40

あいだ／生成

Between / Becoming

[Article]

SHIMADA Kumi	Music as Social Work: Focusing on the Controversy over the Non-Profit Organization “Music & Memory”
WATANABE Yōhei	Richard Rorty: Human, All Too Human
KAKEI Nanako	A Study of Frank Stella: On the Acceptance of Mondrian’s and Pollock’s Works